

## 文化遺産を後世に伝えよう

〔文化財防火デー〕

竹駒神社で、県指定文化財である唐門付近の配電盤からの出火を想定して、竹駒神社自衛消防隊と岩沼消防署による放水訓練が行われました。

昭和24年1月26日に、法隆寺金堂が炎上し、奈良時代に描かれた12面の壁画が焼失したことを受けて、この日を「文化財防火デー」として全国各地で、火災などの災害から文化財を守るために消防訓練が実施されています。

市でも毎年、県指定文化財の唐門と市指定文化財の隨身門、境内三社を有する竹駒神社で、訓練を実施しています。



1/24

▲唐門に向かって放水する様子

## 昔の道具に触れてみよう

〔昔の道具体験授業〕

市民図書館ふるさと展示室などで、市内の小学3年生が社会科の1環として体験学習を行いました。

子どもたちは会場に集められた昔の道具を手にとって、使い方を探ってみたり、今の道具でいうと何かについて考え、必死にメモを取る姿が見られました。中でもランドセルや枕など、普段使っている道具は人気で常に人が集まっていました。

昔の道具について子どもたちは、「重くて使いにくそう」、「昔の枕のほうが、今の枕より寝心地が良いかもしれない」など感想を話していました。



▲実際に昔の道具を使ってみる児童



1/29

▲授業の様子

## 心を込めてチョコ作り

〔バレンタインの会〕

みなみプラザで、「バレンタインの会」が行われ、乳幼児親子23組55人が参加しました。初めに、チョコレットをカップに流し込み、プレゼント用のチョコレットを作り、袋にシールを貼って飾り付けをし、親子で華やかなラッピングを完成させていました。

プレゼント用のメッセージカードには、「ありがとう」など、日頃の感謝を伝える言葉が並び、温かな雰囲気になりました。

参加者は「楽しかった」と話し、親子で協力して作ったプレゼントを大事に持ち帰っていました。



2/14

▲素敵なラッピングに仕上がりました

## 思考力・判断力を養う

〔市内教職員向け研修会〕

岩沼西中学校で、(一社)ボトムアップパースンズ協会の畑喜美夫氏を講師に迎え、「教職員指導力スキルアップ研修会」が開催されました。昨年8月に市で行われた研修会を踏まえ、より実践的な内容となりました。

2年2組の生徒35人を対象に、参加者の多くとコミュニケーションを取ることでできる「ワールドカフェ」というワークショップを通し、模擬授業を行いました。授業への導入方法や挙手の促し方などが紹介されると、参加した教員の皆さんは、今後の指導に生かそうと興味深く耳を傾けていました。



2/18

▲自分の考えを発表した人へは拍手を送ります



2/20



▲各グループで活発に意見が出されました

総合体育館で、「県防災指導員・防災士意見交換会」が行われ、79人が参加しました。  
台風19号の対応状況や白石市の西益岡地区の取り組みを学びました。その後、参加者の各地区で避難行動要支援者の避難支援にどのように取り組んでいるか、困っていることは何かをグループに分かれて議論しました。工夫している点にも話が及び、参加者から「非常時にはスマートフォンを活用したメッセージ機能を使う」、「地図に浸水箇所を独自に落とし込んでみる」などの声が聞かれ、災害時の対応について情報共有を図りました。

## 災害時の対応を共有

県防災指導員・防災士意見交換会

2/23



▲真剣な表情で勝負をする参加者

### Aクラス

優勝 川名 健二 (7段)

準優勝 川上 茂 (7段)

3位 斎 末男 (5段)

### Bクラス

優勝 柿沼 喜久男 (3段)

準優勝 斎藤 実 (4段)

3位 荒木 宏忠 (初段)

### Cクラス

優勝 田中 宏昌 (1級)

準優勝 熊谷 英夫 (初段)

3位 春日 太一郎 (初段)

中央公民館で、「岩沼市長賞争奪新春市民囲碁大会」(協力・日本棋院仙南中央支部)が行われ、24人が参加しました。  
上位入賞者(敬称略)は次のとおりです。

## 囲碁の真剣勝負

岩沼市長賞争奪新春市民囲碁大会

2/22~23



▲ソリ滑りで笑顔がはじけました

▲そばを打つ児童ら

山形県尾花沢市で、「冬の尾花沢体験交流」が行われ、市内の小学4~6年生19人が参加しました。  
これは友好都市締結20周年を迎えた尾花沢市と岩沼市の交流事業で、児童はソリ滑り、鶴子地区での民泊、そば打ち体験などを楽しみました。  
そば打ち体験では、初めてそば打ちを行う児童が多く、講師の「おぼねそば打ち愛好会」の皆さんに丁寧に指導していただきました。  
参加した児童は「そばが美味しかった」、「民泊が楽しかった」と話し、地域の方との親交を深めていました。

## ソリ滑りとそば打ちを楽しむ

冬の尾花沢体験交流

2/26



▲上空から被害状況の確認などを行います

▲指令を出す様子

高機能消防指令センター運用開始  
あぶくま消防本部で、「高機能消防指令センター運用開始式」が行われました。岩沼市、巨理町、山元町の119番通報を、あぶくま消防本部で一括して受信することで、通報の現場に一番近い消防車や救急車を出勤させることができるようになりました。  
このシステムは高度なITを駆使しているため、通報の内容から災害の種類・規模を決定し、出動車両の自動編成をするなど、防災体制の強化につながります。  
また同日に、(株)仙南測量設計と協定を結び、災害時にドローンを使った救助活動が可能になりました。

## 防災体制の強化

高機能消防指令センター運用開始